

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
推進体制JFRの  
マテリアリティ低炭素社会への  
貢献サプライチェーン  
全体のマネジメント地域社会との  
共生ダイバーシティ  
の推進ワーク・ライフ・  
バランスの実現事業会社の  
ESGの取り組み社外取締役  
メッセージ

ガバナンス

データ集

→ JFRお取引先様行動原則の策定と浸透 Scope3温室効果ガス 循環型社会の実現に向けて

# サプライチェーン 全体のマネジメント

JFRグループは  
サプライチェーンの皆様とともに  
ESG課題に取り組み  
持続可能な成長につなげていきます。

2030

JFRお取引先様行動原則

100%  
浸透



JFRお取引先様行動原則

2019年度「JFRお取引先様行動原則」策定

8,727社送付  
(2019年11月末現在、連結)



2030

Scope3 温室効果ガス排出量

40%削減  
を目指す  
(2017年度比)

JFRお取引先様行動原則説明会

530社出席  
(大丸松坂屋百貨店)



Scope3温室効果ガス増減率

1.6%増  
(2017年度比、連結)

Scope3温室効果ガス算定

約312万t  
(2018年度、連結)



※大丸心斎橋店、渋谷パルコの設備投資による  
「自社の資本財の建設・製造に伴う排出におけ  
る投資額」の増加

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
推進体制JFRの  
マテリアリティ低炭素社会への  
貢献サプライチェーン  
全体のマネジメント地域社会との  
共生ダイバーシティ  
の推進ワーク・ライフ・  
バランスの実現事業会社の  
ESGの取り組み社外取締役  
メッセージ

ガバナンス

データ集

→ JFRお取引先様行動原則の策定と浸透 Scope3温室効果ガス 循環型社会の実現に向けて

## 背景

経済のグローバル化やステークホルダーのニーズの多様化に伴い、商品、資材、原料などを調達する際、従来の品質や性能に加え、環境への配慮、労働環境、人権問題などの課題へのサプライチェーン全体での対応が求められています。

サプライチェーン  
全体のマネジメント

## 考え方

JFRグループは、原材料調達から製造・販売・消費までのサプライチェーンにおける販売・サービスを中心とした役割を担っています。環境・社会課題の解決のためには、お取引先様を含むサプライチェーン全体で取り組むことが重要と認識しています。

当社グループが考える果たすべき社会的責任の遵守や、環境や人権に配慮した取り組みの推進により、サプライチェーン上のリスクを排除し、お取引先様とともに企業価値向上を実現します。

取り組みの  
概要

当社グループが考える果たすべき社会的責任の基本的な考え方を明文化し、役員・従業員で遵守し、お取引先様にもご理解・遵守いただくための積極的な働きかけを行います。また、サプライチェーン全体での温室効果ガスの削減に取り組めます。

- JFR行動原則・JFRお取引先様行動原則策定
- お取引先様への働きかけ
- Scope3温室効果ガス排出量削減への取り組み
- 循環型社会の実現につながる取り組み

## 体制



→ サステナビリティ委員会

## 方針



→ JFR行動原則

→ JFRお取引先様行動原則